

共同募金の災害支援

赤い羽根共同募金は、平常時は地域の身近な福祉活動を支えています。災害時には災害等準備金による支援や義援金の募集など、様々な形で災害支援を行っています。

災害等準備金による支援

大規模な災害が起こった際の備えとして、各都道府県の共同募金会では、毎年「赤い羽根募金額」の3%を「災害等準備金」として積み立てています。この積み立ては、大規模災害が起こった際に、災害ボランティア活動支援など、被災地のために使われます。

これまで石川県内では、令和4年8月大雨災害および令和6年能登半島地震で災害等準備金を活用しました。令和6年能登半島地震では、全国の共同募金会で積み立てている災害等準備金の1/4を拠出し、県内11ヶ所の災害ボランティアセンター等へ支援しています。

赤い羽根へのご寄付は、被災された方々を支えるため、被災地でのボランティア活動等にも役立てられています。

～災害ボランティアセンターからのメッセージ～

担い手：輪島市社会福祉協議会

輪島市災害ボランティアセンターでは、一般住宅における家財の運び出しや屋内外の片付けなど、全国からお越しくださるボランティアのご協力のもと、1月発災後以来活動を続けています。

これまで、個人や団体など多くの方がボランティアに参加してくださったおかげで、被災者のニーズに対応できました。災害ボランティアセンターの運営には、作業に必要な資材やレンタカー、光熱水費などの費用が掛かり、それらは災害等準備金を活用しています。

多くのボランティアの皆さんを受け入れ、長期にわたって活動していくには、あらゆる面で多額の費用を要するため、災害等準備金による支援は大きな力になっています。



災害ボランティア活動の様子

義援金の募集



共同募金会では、災害発生時に災害救助法の適用状況に応じて義援金を募集しています。

災害義援金は、災害により被災された方への見舞金としての性格を持つとともに、被災された方の当面の生活を支える資金として位置づけられています。

ご寄付いただいた災害義援金は、全額を被災都道府県行政が設置する義援金配分委員会へ送金し、被災者の皆さまに届けられます。

令和6年能登半島地震では、令和6年7月1日時点で20億7,247万円余の義援金が全国から寄せられました。皆様の温かいご支援・ご協力に感謝申し上げます。